

2025 年 6 月 24 日

伊丹市
日揮ホールディングス株式会社
株式会社レポインターナショナル
合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY

伊丹市と持続可能な航空燃料の普及促進等に関する連携協定を締結 ～伊丹市で回収した廃食用油が SAF に～

兵庫県伊丹市（市長：中田 慎也、以下「伊丹市」）、日揮ホールディングス株式会社（代表取締役会長兼社長 CEO 佐藤 雅之、以下「日揮 HD」）、株式会社レポインターナショナル（代表取締役 CEO：越川 哲也、以下「レポインターナショナル」）および、合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY（代表者：高田 岳志、以下「SAFFAIRE SKY ENERGY」）は、持続可能な航空燃料 SAF（Sustainable Aviation Fuel、以下「SAF」）等の原料となる使用済み食用油（以下「廃食用油」）の資源化促進を図るため、「持続可能な航空燃料の普及促進に関する連携と協力に関する協定書」（以下「本協定」）を 2025 年 6 月 24 日に締結し、同日、伊丹市役所内にて協定締結式を執り行いました。

なお、本協定に基づいて伊丹市が SAF の原料向けに提供する廃食用油は年間でおおよそ 29,000 リットルを見込んでいます。

また、伊丹市は家庭や店舗などで発生する使用済み食用油を原料とする SAF を用いて、航空機が飛ぶ世界を実現するプロジェクト「Fry to Fly Project」に同日付で参加しました。

大阪国際空港の所在する伊丹市と協定を締結し、4 者が相互に連携することで、安定的な国産 SAF 製造を進めてまいります。



協定締結式の様子（左から SAFFAIRE SKY ENERGY の西村勇毅最高執行責任者 COO、伊丹市の中田 慎也市長、レポインターナショナルの越川哲也代表取締役 CEO、日揮 HD の秋鹿正敬専務執行役員）

【協定の趣旨】

伊丹市では、市内 11 か所の公共施設等で廃食用油の回収を実施していました。廃食用油は SAF の原料となる貴重な資源ですが、多くの家庭では廃棄されているのが現状です。そこで、伊丹市の廃食用油回収のノウハウを活かし、航空燃料に再利用することで、大阪国際空港の所在する伊丹市において市民一人ひとりが脱炭素に貢献できることを実感し、脱炭素・資源循環型社会の実現を目指します。また、今回協定を締結した 4 者で緊密かつ積極的に連携・協力することで、持続可能な循環型社会の形成や脱炭素化社会に貢献します。

【協定の主な内容】

- (1) 家庭から排出される廃食用油の回収に関すること
- (2) 廃食用油を用いた SAF 等の製造及び維持継続するために必要な活動に関すること
- (3) 廃食用油を SAF に再資源化することを広く市民等へ情報発信する機会の提供及び普及啓発活動に関すること
- (4) 伊丹市内における新たな回収拠点拡大のために必要な活動に関すること
- (5) その他、本協定の目的を実現するために必要なこと

【協定に基づく具体的な取り組み】

伊丹市内の市庁舎や体育館をはじめとする公共施設 11 箇所で伊丹市が回収した廃食用油をレポインターナショナルが収集し、国内初の SAF 大規模生産を行う SAFFAIRE SKY ENERGY のプラント（コスモ石油堺製油所内、2024 年 12 月完工）へ運び、国産 SAF の原料として資源化します。

加えて、市内の給食センターなど市が運営する事業系廃食用油も来年度以降 SAF 製造向けへの提供を検討します。

また、市民の皆様への廃食用油による資源循環の取組みを周知するため、毎年 11 月に伊丹市が実施している環境イベントでも廃食用油が SAF になるまでのサプライチェーンを市民に広く知ってもらう体験を予定しています。



【SAF (Sustainable Aviation Fuel) について】

バイオジェット燃料を含む持続可能な航空燃料。原料として廃食用油、サトウキビなどのバイオマス燃料や都市ごみ等を用いて製造するもので、航空機や給油設備の変更をせずとも利用でき、製造から使用までのライフサイクル全体で約 84% の CO2 排出削減効果が得られます。

参考：国土交通省「空のカーボンニュートラル SAF の導入促進 航空機運航分野の脱炭素化」
URL : <https://www.mlit.go.jp/koku/jigyousha.html#saf>

【国内初の SAF 大規模生産事業の概要】

日揮 HD、レポインターナショナルおよびコスモ石油は、共同で SAF のサプライチェーン構築に向けて事業化検討を進め、2021 年に NEDO（国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）の「国産廃食用油を原料とする SAF 製造サプライチェーンモデルの構築」助成事業に採択※されました。2022 年 11 月に新会社 SAFFAIRE SKY ENERGY を設立。国内唯一の国産 SAF 大規

模製造設備は 2024 年 12 月に完工し、2025 年 4 月から供給を開始しました。

※NEDO ホームページ : https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html



建設が完了した SAF 製造装置



SAF の原料である廃食用油受け入れ施設

【Fry to Fly Project について】

「Fry to Fly Project」は、家庭や店舗などで発生する使用済み食用油を原料とする SAF を用いて、航空機が飛ぶ世界を実現するプロジェクトです。プロジェクトは日揮 HD が発起人となって設立し、設立主旨に賛同する企業・自治体・団体が、家庭や飲食店など身近なところで発生する廃食用油の提供を通じて、日本国内における資源循環の促進に直接参加しています。

特設ホームページ : <https://www.jgc.com/jp/esg-hsse/initiative/fry-to-fly/>



【本件に関するお問い合わせ先】

伊丹市まちづくり室生活環境課
前田・森本
TEL : 072-781-5371

日揮ホールディングス株式会社
戦略企画オフィス 経営企画ユニット 広報グループ 伊達、Lin (リン)
TEL : 045-682-8026

株式会社レポインターナショナル
運営管理部 広報 奥村
TEL : 075-353-2277